様式１

有害プランクトン注意報
（ R7　No.1-1）

令 和　7 年　8 月　29 日
千葉県水産総合研究センター

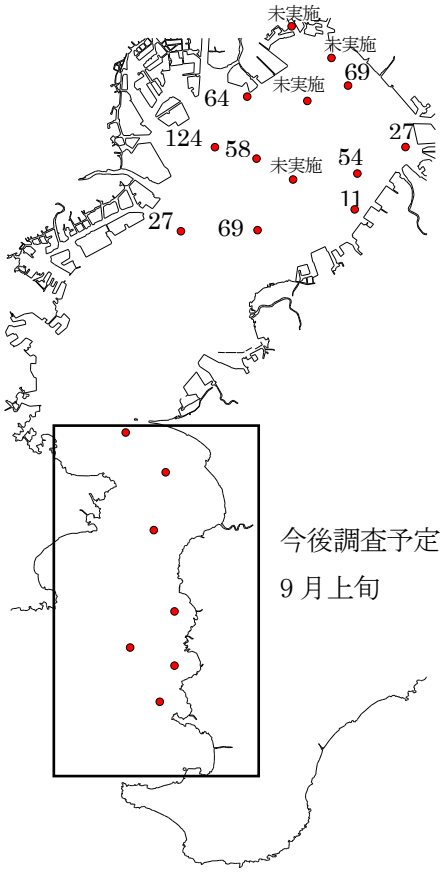
東京湾でカレニア属のプランクトン(*Karenia mikimotoi*)が、注意を必要とする基準を超える密度で確認されました。

令和 7 年 8 月 28 日に県環境研究センターが行った調査において、東京湾内湾で有害プランクトンのカレニア ミキモトイ(*Karenia mikimotoi*)が確認されました。

今後、増加する可能性がありますので、養殖魚、蓄養魚の管理には十分注意してください。

- 確　　認　　日　　令和 7 年 8 月 28 日
- 確 認 海 域　　東京湾
- プランクトンの種類　　カレニア ミキモトイ

注意基準を超えた調査地点		プランクトン密度（細胞/mL 程度）
8/28	羽田沖	124
注意基準密度		100
警戒基準密度		1000



調査地点別のプランクトン密度（細胞/mL 程度）

1. 本種は西日本に広く分布する小型のプランクトン（20～40μm）で、海水 1 mL あたり数千細胞を超えると魚介類のへい死を引き起こす危険性があります。アサリへの死亡例はありませんが、赤潮状態の場合は夜間酸欠になります。
2 人に被害を及ぼす貝毒の原因プランクトンではありません。
3 海況の変化や魚の動きに十分注意し、必要に応じて早めの対応をお願いします。
4 赤潮等、海域の異変を発見した場合は水産総合研究センター、漁業資源課又は水産事務所に連絡してください。

担当　水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
電話　0439-65-3071
FAX　0439-65-3072